



第18回アフターレポート

# おしゃべり えほんの会

今回のテーマ

## 新刊絵本を読む

作成：四日市市立図書館児童室 Tel059-352-5108

於：2021年1月15日（金）午前10時～11時半 四日市市立図書館 3階会議室

「絵本の好きな人が集まり、絵本について気軽に話をしよう！」と始まった「おしゃべりえほんの会」。第18回は、「新刊絵本を読む」でした。寒い時期にもかかわらず、何人もの参加があり、机いっぱいにならぬ絵本に「見たことがない本がいっぱい！」と喜んでいただきました。

職員がぜひ紹介したいと思っていた絵本は、絵がラブリーでハッピーなLGBTQをテーマにした『ジュリアンはマーメイド』、認知症がテーマの『おじいちゃんの手帳』、田島征三さんの絵が迫力の『つかまえた』、その美しさに驚く『珪藻美術館』、人がいない時の『ねこはるすばん』、おこりんぼうな女の子の『テツコ・プー』などでした。

とにかくおもしろかった本は『はかせのプール』『あっ、ごきぶりだ！』『サンドイッチにはさまれたいやつよっといで』。ユーモラスな『うごきません』と『フンころがさず』は2冊とも大塚健太さんが文を書いているのも今日発見！

『ねぐせのしくみ』『もしものせかい』のヨシタケシンスケさんもすっかりおなじみです。



今回は「戦争」「認知症」の絵本に完成度の高いものがあり、『せんそうがやってきた日』

『しあわせなときの地図』はみなさんが最初に手に取られていました。

また、作って食べたくなる『おにぎりをつくる』、読んだら絶対にやってみたくなる写真絵本『このかみなあに？』は絶賛！帰りに書店に寄るとのことでした。

西部劇仕立ての『まひるのけっとう』は「すごい！時間が過ぎるのにあわせて、背景の星が動いている」との声があり、絵本っていろいろな見方があるな、と新たな発見ありでした。

「海外の絵本が多いのでは？」ということで数えてみましたが、日本の作家の本の方がたくさんありました。ただ、世界で選ばれてやってきた本は、印象に残るものが多いのかもしれないですね。

ほかにもおもしろい絵本はたくさんあります。ホームページや、じどうしつだより新刊案内2021年1・2月号などでも紹介していますのでどうぞご覧ください。

## ★★ 話題に出た絵本 ★★

あっごきぶりだ!	塚本 やすし/作	ポプラ社
あの湖のあの家におきたこと	トーマス・ハーディング/文	クレヨンハウス
うごきません。	大塚 健太/作	パイインターナショナル
えんぴつとケシゴム	カレン・キルパトリック/文	KADOKAWA
おじいちゃんの手帳	藤川 幸之助/さく	クリエイツかもがわ
おにぎりをつくる	高山 なおみ/文	ブロンズ新社
かけだしたイス	サトシン/ 作	主婦の友社
かべのあっちとこっち	ジョン・エイジャー/さく	潮出版社
きえるあひる	なつめ よしかず/さく	福音館書店
このかみなあに?	谷内 つねお/さく	福音館書店
こんにちわ!わたしのえ	はた こうしろう/作	ほるぶ出版
サンドイッチにはさまれたいやつよっといで	岡田 よしたか/著	佼成出版社
しあわせなときの地図	フラン・ヌニョ/文	ほるぶ出版
ジュリアンはマーメイド	ジェシカ・ラブ/作	サウザンブックス社
スナックだいさくせん!	テリー・ボーダー/作	岩崎書店
せんそうがやってきた日	ニコラ・デイビス/作	鈴木出版
つかまえた	田島 征三/[作]	偕成社
テツコ・プー	児島 なおみ/作・絵	偕成社
ねぐせのしくみ	ヨシタケ シンスケ/作	ブロンズ新社
ねこはるすばん	町田 尚子/作	ほるぶ出版
はかせのふしぎなプール	中村 至男/さく	福音館書店
まどのむこうのくだものなあに?	荒井 真紀/さく	福音館書店
まひるのけっとう	マヌエル・マルソル/作	光村教育図書
もしものせかい	ヨシタケ シンスケ/著	赤ちゃんとママ社
モジャキのくすり	平田 明子/ぶん	ほるぶ出版
よい子れんしゅう帳	おかべ りか/作	福音館書店
ランカ	野呂 きくえ/さく	偕成社
りんごだんだん	小川 忠博/写真と文	あすなろ書房
わにのなみだはうそなきなみだ	アンドレ・フランソワ/作	ロクリン社
珪藻美術館	奥 修/文・写真	福音館書店
死んだかいぞく	下田 昌克/著	ポプラ社

「おしゃべりえほんの会」は、年三回ほど開催しています。参加申し込みは不要で、どなたでも参加していただけます。子ども同伴の人も歓迎します。

次回の開催につきましては、決まり次第図書館ホームページや広報などでお知らせいたします。